



《発行所》

青山同窓会
〒951-8127 新潟市関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268
《編集、発行人》
上村光司
《印刷所》
オリオン印刷 ㈱
〒950-0963 新潟市南出来島1-19-1
TEL 025-283-2151
FAX 025-283-3804

ごあいさつ

青山同窓会会長 50回 上村光司



新しい年を迎えました。めでたさも中くらいどころか、はるかに下だと言いたくなる昨今ですが、それだけにいい年にしたというお互いの願いは、強いのだと思います。病いは気からとも申します。怒濤さかまく日本海、行手はるけき人生をひらくべく、応援歌でも高唱して元氣を出したいものであります。去る十一月二十一日、大阪で青山同窓の懇親会が開かれました。私の知る限りでは関西での同窓会は、これが初めてのように思います。石田幹事長が持ち前の行動力を発揮して実現したその詳細は、本号の特集をご覧ください。願うとして、最初はモジモジし

ていた皆さんが、三十分たち一時間たつにつれて、旧知同士のよらない雰囲気になって行きました。年代も教わった先生も、いまの職業も違うのに、同窓の間柄とはまことに不思議なものです。東京では東京青山同窓会が、営々努力の結果、立派な組織を築き上げています。関西はどうかという声は昔からあったのですが、形に出来ずにおりました。東京青山同窓会の苦心を見聞きしているだけに、財政的な角度からも慎重にならざるを得ませんでした。ところが昨年、新たに同窓会費を納めてくださる方々が増え、同窓会の会計がひと回り大きくなりました。関西の立ち上げに若干の出費をすること、許していただけるだろうと判断した次第です。ただし今後の形については、

性急に決めてかかることはないと思っています。毎年一回懇親会を開いて行って、その成果を見ながら考えればよいのでしよう。

母校の新築で取り壊された「青山会館」が近く復活します。新校舎計画にはセミナー・ハウ

恒例の総会は七月十八日（金）ホテル新潟において開催されました。上村会長の挨拶、佐藤校長の挨拶の後、例年どおり議事に入り、会務報告、決算、予算、そして今年役員改選の議題もありましたが、上村会長以下全員留任ということで総会は終了しました。

引き続き、藤 総会実行委員長の指揮のもと懇親会に入りまして。改めて上村会長の挨拶をいただき、来賓の東京青山同窓会のかたがたをご紹介、ご挨拶をいただき、長谷川新潟市長からもご挨拶をいただきました。

平成九年度 青山同窓会総会

スというのがあって、研修の場と宿泊の機能を合わせ持つことになっていました。当初予定では本校舎のあととされていたのが、国の予算の都合で今年度内に完成します。二階建、各階約三百平方メートル。

前の青山会館は創立八十周年記念事業として、同窓各位から寄付を仰いで建てたもので、思いのいろいろ詰まった青山会館の名前が、そのまま受け継がれるのを、うれしく思っています。

校歌（旧、新）を斉唱し、開宴の乾杯発声は31回松井道夫さんにお願ひしました。一年ぶりに顔を合わせた懐かしい面々は、あちらこちらでの交歓の輪を広げ、和やかに宴は盛り上がりつつ行きました。



佐藤校長／新校舎などの説明

東京青山同窓会よりのご来賓各位

東京青山同窓会総会に際して

東京青山同窓会事務局長 佐藤 邦雄

恒例の東京青山同窓会総会は、本年十一月十四日丸ノ内のサンケイ会館にて開催されました。簡単に東京青山同窓会の活躍を紹介しますと、年三回催し物を開催しています。第一回は、毎年四月に講演会、講師は、新潟高校を卒業され、いずれかの道で専門を極め、東京在住の同窓

生に知識や刺激を与えてくれる方々を学年幹事会で選びお願ひしています。第二回は、新人歓迎会で六月に開催されます。新潟高校を卒業され、東京近辺へ上京された新東京青山同窓会会員をOB皆でもてなして孤独でない東京での新生活を送っていただくというのが狙いです。





乾杯

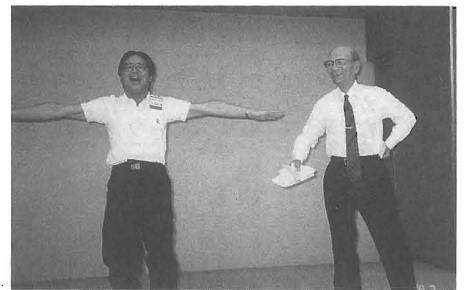


斉藤会長

第三回は、十一月の総会です。いずれも金曜日の夜開催しております。新潟からいつも参加して頂いている御来賓に御都合が宜しいかという事でこの曜日を設定しています。その他、年二回会報を発行しております。時期は、五月と十一月です。この中では、やはり十一月の総会がメインイベントです。

事務局の悩みは、折角の催し物にも拘らず動員数が極めて少ない事です。「商売じゃあないからいいじゃないか」というお前売り券の販売。3、幹事一人一人が五名ずつ連れてくる。3、が実現すればすぐ二百名位にはなります。4、新聞のお知らせ欄に載せる。5、インターネットの同窓会欄に載せる。しかし、1、は邪道であるし、経済的にも無理という結論に達し、2、から5、を实践する事になりました。2、は、76回の田中邦直氏にお願いました。その前売り券を3、の通り、各学年幹事に配布し、動員をお願いをしました。かなり、強引な手法ではありましたが、苦情より激励のお電話のほうが多かったので民主的な方法として受け止めて頂けて良かったと思われました。4、は、かなり反響があり、「新聞を見た」というOBからかなりの問い合わせがきました。「今

なくとも学年単位の同期会で十分です。しかも中途半端な会では、採算にのりません。本年、講演会の動員は約九十人、新人歓迎会で百十人と非常に少なく、努力している割には成果がでていませんでした。こうなつたら、解散でもしたほうが良いかとも思い、学年幹事会を開き、先輩後輩諸氏にご意見をお伺いしました。ほぼ全員が「何とか盛り上げたい」というご意見でした。その具体策として1、会にアトラクションを呼ぶ。2、前売り券の販売。3、幹事一人一人が五名ずつ連れてくる。3、が実現すればすぐ二百名位にはなります。4、新聞のお知らせ欄に載せる。5、インターネットの同窓会欄に載せる。しかし、1、は邪道であるし、経済的にも無理という結論に達し、2、から5、を实践する事になりました。2、は、76回の田中邦直氏にお願いました。その前売り券を3、の通り、各学年幹事に配布し、動員をお願いをしました。かなり、強引な手法ではありましたが、苦情より激励のお電話のほうが多かったので民主的な方法として受け止めて頂けて良かったと思われました。4、は、かなり反響があり、「新聞を見た」というOBからかなりの問い合わせがきました。「今



応援歌用意

回は、出席できないけど次回行きます。」「今後は、是非参加したい。」というようなものでした。その他、県立岐阜高校のOB会より、視察したいとの御希望もありました。どこのOB会も気持ちだけでは維持できないという現実の悩みの解決策を模索しておられるようでした。さて総会当日、不安と期待の入り交じった気持ちで会場の入り口で参加者をお待ちしました。お陰様で約百七十名の方が参加され、久しぶりの賑わいになりました。これは、各学年幹事の皆様の御協力の成果でした。

同窓会を盛り上げる一番の方法は、多くの皆さんが参加する事です。参加する事により、顔見知りができ、お互いに何かを共有できる事ではないでしょうか？この世の中、理想は、独立歩、人に頼らず、我慢強くとい

いう雰囲気は新潟の人の中にあるような気がします。しかし、お互いに協力しあって自分の実力以上の事ができるようにするのがいわゆる人脈ではないでしょうか？作ろうとしてできるものではないし、時間をかけずにできるものでもないと思います。同窓会の正しい利用方法は、参加

「関西青山同窓会懇親会」
はじめて開催

する事です。東京青山同窓会は、色々な職業からの、しかも優秀な人々の集まりです。何かと役に立つ人々の集団です。新潟高校を卒業したというだけで一生参加できる権利を得ているのです。是非、その権利を放棄せず、一年一回は、参加して下さい。

さる十一月二十一日(金)午後七時半より、標記の会が、大阪駅ターミナルビル二十階のホテルグランビア大阪において開催されました。集うものは七十余名。新潟から、上村光司会長、小林亨副会長、石田瑞穂幹事長が出席。来賓としては、出席者と在校時代の記憶の重なるところが多い宮地正樹元校長にお出でいただきました。初めてのお会合ゆえに、「青山同窓会関西懇親会」の名の下に、石田幹事長の司会で始まりました。

会長挨拶の後、来賓の宮地元校長より、教員としての八年間、校長としての四年間、通算十二年に亘る青山での思い出や、校舍改築にまつわる話などをいただきました。貞夫氏からご挨拶をいただき、乾杯のご発声は当日出席最長老の52回星野孝さんをお願いしました。神戸、京都、奈良などからも集まれるように配慮された遅い開会時間にもかかわらず、和やかに会は進みました。52回から104回現役の大学生まで、五十余年の年輪を越えて、同窓懇親の輪が一気に広がりました。早速腹ごしらえをし新潟から持参の地酒などもまわり、司会の指名により、順次センターマイクでのスピーチが続きました。場内のあちこちでもテーブルを囲んで話の花が咲きました。始めて会った人達も、こんな会を待っていたようで、ぜひ来年もやって貰いたいとの声も聞かえて来ました。若い関西在住者に手伝って貰い、続けたいもの



関西の同窓生達

(幹事長 67回 石田瑞穂)

年頭のご挨拶

衆議院議員 第66回 吉田六左工門



青山同窓会の諸兄、明けましておめでとうございます。

昨年は皆様方のお陰で衆議院に席をお与えいただき、夢中で勤めた一年でありました。

国政では好むと好まざるにかかわらず、将来の日本のため、今やらなければならない大改革・

沖繩問題・エネルギー・国際関係・教育・保険制度の改革と新設や、福祉医療問題、災害に強い国づくり、スポーツ文化・ワールドカップ招致、道路・交通、情報ネットワークの整備等々。

地域にかかわる問題では、本学のナンバ一校として遜色のない新校舎建設、思い出多い旧市街地の活性化、川にもつと橋を架けたい、空港・港湾・新潟駅

連続立体化等日本海側の拠点都市としてインフラを整えたい。

札・仙・広・福に次いで新潟だ。この位置付けが、これから向う何にとっても重要である。県都であると同時に、ブロック

の都になりたいと思ひ、先輩の長谷川義明市長の必死に努力する姿を想うとき、市民の声を束ねるお立場ですから、国政にかかわる事柄は、ご指示のもとで精一杯働かせていただきます。

あつと言う間の一年でしたが、多くの経験をしながらい今年に向けての良き足掛かりを得ることができました。

昨年夏の同窓会総会では、お世話になった恩師、渡辺秀英「団長」様より戴いた「青山樹

新年のご挨拶

新潟市長 61回 長谷川義明



青山同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。

新しい年を大きな期待と夢をもって迎えたいと思ひます。

この一年が、皆様にとって喜びの多い年になりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、年明け早々にロシア船籍の重油流出事故が発生し、

海岸の汚染や魚介類への影響が懸念されましたが、故郷の美しい海辺を守りたいという熱い思いを持った多くの市民の皆様が、寒風吹きすさぶなか、油の回収にボランティアで参加していただき、幸いにも被害を最小限に

くい止めることができました。同じ目的意識を持って協力し合いう、連帯の力の大きさと素晴らしさを、改めて認識させられた出来事でもありました。

ふるさと新潟の市長になって八年目を迎えました。市役所

の仕事はどれ一つとっても市民生活に密着した行政であり、市民の皆様のご理解とご協力がなければ、円滑に進まないものばかりであります。

昨年の四月から、ゴミの再資源化などを目的に、全市でゴミの六分別収集をスタート致しました。長年の生活習慣の変化が伴うものであることから、市民の皆様には大変ご努力をいただきましたが、幸い大きな効果を上げることができました。

二十一世紀を目前に控え、地方分権の流れが一段と進むものと思われませんが、新しい権限を生かし、魅力あるまちづくりを

勝てて活躍されまうとともに、連帯の輪が一層強まる事をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

今後とも、同窓の皆様がご健勝にてご活躍されまうとともに、連帯の輪が一層強まる事をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



青山樹得国会旗
祝賀詞
青山同窓会
長谷川義明
平成九年

巣に帰る鳥のごとく

東京青山同窓会 58回 福田 満

創立百年(一九九二年)の時に出席してから久しぶりに新潟の総会に東京同窓会代表の一人として出席した。前回は全出席者を半分に割れば、われわれ58回は、あとの方の半分に入っていたように記憶する。今年はその三分の一に分れば明らかにその第一グループに入る年次になっていることがわかった。年月の経りの早さに驚くばかりである。

乾杯の音頭は31回松井道夫先輩で簡潔明瞭なスピーチで感銘をうけた。あとで相変わらずお元氣でおとしは？とお尋ねすると、ただ笑って明治三十九年生れと応じられた。九十一才か、生涯現役のお手本のような方である。われわれが特に母校に格別の愛着を抱くのは終戦を挟んで在校六年と云う動乱と変動の日々を経験したからかも知れない。新潟中学に入学時は五組二五〇名であったが戦後外地からの引揚者他の都市からの転入者等多彩であった。だから今でも何年

し上げ、同窓各位の平安・活躍をお祈りいたします。会報にこの様なスペースを授かり、ご挨拶許されること、何よりありがとうございます。

会場には平成十三年完成予定の新校舎の写真が展示されていた。私にはそれが関屋の松林の中に忽然と現われた龍宮城(水族館とは云わないが)のように見えた。関屋の悪ガキ時代はよく野球部の練習を見たり剣道場の武者窓にぶら下つてのぞいたりした中学校が自分の母校と変わった校舎はその後焼失し鉄筋となつたが本音を云うと何か馴れないものがあつた。しかし歴史とは

そう言うもので変遷しながら伝統を創り毎年俊英を育て輩出し

(次頁へつづく)

て行くのだろう。ふり返る年令となつたのか、唐詩選に友人に酒を勧めて語る詩を想い出す

花發多風雨人生是別離
はなにあらしの
たどえもあるぞ
さよならだけが
人生だ

先輩 北村太市氏(29回)を訪ねて

ある偶然の出来事が北村の人生を左右することとなった。29回(大正十一年卒)北村太市の人生である。

大正十一年四月、早稲田大学第一高等学院に入学した北村は、校内運動会に参加し、一〇〇m走で抜群の成績をあげた。この走りっぷりを見ていた同校陸上競技部員の勧誘を受け、初めて本格的なトレーニングに励むこととなった。もともと北村はずばらしい運動能力を有していたが、新潟中学時代も校内体育祭で活躍したことから急遽陸上競技部のリレーメンバーに加えられる程であった。

昭和六年開通の上越線を今日迄おれは何回往復したか? 奇しくも私はその年に生れている。すでに二百回、いや三百回ではきくまい。そうしたら五百回達成の頃にさよならかと車窓を眺めながら缶ビールを空けた。

67回 戸松 秀雄

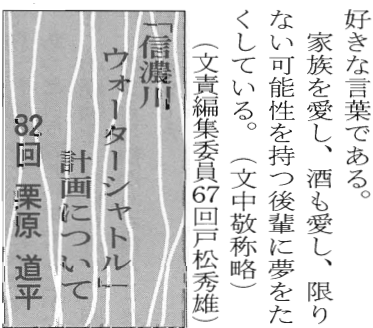
昭和三年早大卒業と同時に郷里に帰る。現、新潟日報社の前



大正十四年早大に進み同校陸上競技の黄金時代を築くことになる。中距離ランナーとして活躍するが先輩がまたすごい。三段跳の織田幹男、南部忠平、円盤、砲丸投げの沖田芳夫など世

の社史は北村を評し「いかにもスポーツマンらしく明朗かつ達さわやかな人柄で全従業員に愛されてきた」とある。今でも時折ブラリと同社を訪れるがたちまち後輩に取りまかれ話に花がさいている。

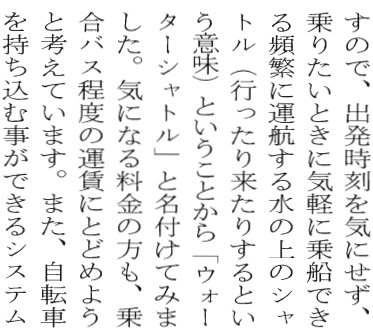
企業の選手と共にグラウンドに猛練習の汗を流すことになる。昭和三年早大卒業と同時に郷里に帰る。現、新潟日報社の前



身の一つである新潟新聞に入社し実業界での活躍がはじまる。昭和四十年、新潟日報社の取締役を辞任、新設された新潟日報販売(株)の社長として草創期の同社の経営を軌道に乗せた。昭和四十五年社長を辞し以後十年間にわたり相談役として同社の成長を見守って来た。同社

の社は北村を評し「いかにもスポーツマンらしく明朗かつ達さわやかな人柄で全従業員に愛されてきた」とある。今でも時折ブラリと同社を訪れるがたちまち後輩に取りまかれ話に花がさいている。

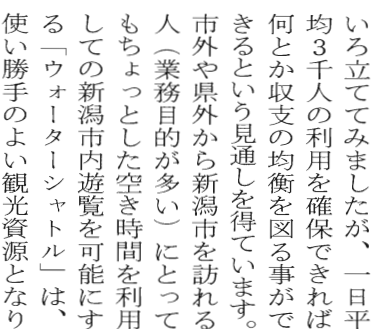
企業の選手と共にグラウンドに猛練習の汗を流すことになる。昭和三年早大卒業と同時に郷里に帰る。現、新潟日報社の前



身の一つである新潟新聞に入社し実業界での活躍がはじまる。昭和四十年、新潟日報社の取締役を辞任、新設された新潟日報販売(株)の社長として草創期の同社の経営を軌道に乗せた。昭和四十五年社長を辞し以後十年間にわたり相談役として同社の成長を見守って来た。同社

の社は北村を評し「いかにもスポーツマンらしく明朗かつ達さわやかな人柄で全従業員に愛されてきた」とある。今でも時折ブラリと同社を訪れるがたちまち後輩に取りまかれ話に花がさいている。

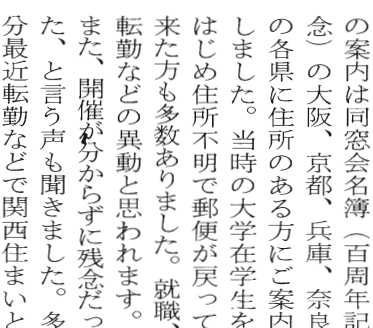
企業の選手と共にグラウンドに猛練習の汗を流すことになる。昭和三年早大卒業と同時に郷里に帰る。現、新潟日報社の前



身の一つである新潟新聞に入社し実業界での活躍がはじまる。昭和四十年、新潟日報社の取締役を辞任、新設された新潟日報販売(株)の社長として草創期の同社の経営を軌道に乗せた。昭和四十五年社長を辞し以後十年間にわたり相談役として同社の成長を見守って来た。同社

の社は北村を評し「いかにもスポーツマンらしく明朗かつ達さわやかな人柄で全従業員に愛されてきた」とある。今でも時折ブラリと同社を訪れるがたちまち後輩に取りまかれ話に花がさいている。

企業の選手と共にグラウンドに猛練習の汗を流すことになる。昭和三年早大卒業と同時に郷里に帰る。現、新潟日報社の前



身の一つである新潟新聞に入社し実業界での活躍がはじまる。昭和四十年、新潟日報社の取締役を辞任、新設された新潟日報販売(株)の社長として草創期の同社の経営を軌道に乗せた。昭和四十五年社長を辞し以後十年間にわたり相談役として同社の成長を見守って来た。同社

関西在住者をお知らせください

この度の関西での懇親会開催の案内は同窓会名簿(百周年記念)の大阪、京都、兵庫、奈良の各県に住所のある方にご案内しました。当時の大学在学生をはじめ住所不明で郵便が戻って来た方も多数ありました。就職、転勤などの異動と思われ、また、開催が分からずに残念だった、と言う声も聞きました。多分最近転勤などで関西住まいとなられた方と思います。今年もまた開催したいと考えています。次回の会報に予定を載せたいと思いますが、同期、同窓の消息などの住所変動が分りましたら、同窓会事務局までお知らせください。名簿原本の補正のため、はがき又はFAXにてお願いします。(事務局)

追悼

武田慎三郎先生

61回 若林 瑞穂

(松浜病院副院長)

武田慎三郎先生のご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り申し上げます。先生の教え子の一人として追悼文を読ませて戴きます。

今を去ること五十年、終戦まもなく始まった新制中学の第一回生であった私たちは突然の変革であったため校舎がなく、はからずも試験を受ける事なしに旧制新潟中学に入学を許可されました。総勢二百四十八名で併設第二中学と申しました。先生はこの私たちのクラスの主任教師をなさいました。秀才少なく大多数が劣等生であった私たちは迷惑のかけ通しでありました。

私たちは先生を「坊っちゃん」とお呼びしておりました。発潮として正義感がよく、誰に対しても平等主義を貫かれました。その反面繊細なおこころで詩歌を作って文集にのせられたり、万葉かなを一人一人に書いて下さったり、また剣道の達人とのことで私たちは一目も二目も置いて先生を尊敬しておりました。私たちのクラスも二年、三年と進級するにつれて劣等生の数が減少して参りました。そして新制新潟高校への受験に際しては何と七十四名の合格者を出す大偉業をなしました。それは先生のお力によるものが大きかったと思います。



当時、新潟中学は教育水準がたいへん高く、能「羽衣」の鑑賞や哲学者天野貞祐氏の講演会などもありました。

ところが私たちが大騒ぎする

ので大目玉を食ったことがありました。先生は国語科を担当され、源氏物語や井伏鱒二の作品などを習った記憶もあります。

が、おおかたは修身のようなものが多く先生から礼義作法の方を教わったように思います。それは我が子に対するように厳しさのある反面、慈愛に満ちたものでありました。

私たちは先生を「坊っちゃん」とお呼びしておりました。発潮として正義感がよく、誰に対しても平等主義を貫かれました。その反面繊細なおこころで詩歌を作って文集にのせられたり、万葉かなを一人一人に書いて下さったり、また剣道の達人とのことで私たちは一目も二目も置いて先生を尊敬しておりました。

私たちのクラスも二年、三年と進級するにつれて劣等生の数が減少して参りました。そして新制新潟高校への受験に際しては何と七十四名の合格者を出す大偉業をなしました。それは先生のお力によるものが大きかったと思います。

さて、後年になって私が先生

とのお付き合いを復活したきっかけは私の親友中田剛さんが先生のお嬢様と結婚されたことでありました。それから私たちのグループでの小さな同級会で先生とお話する機会を何回か得られたことは嬉しい限りでした。

3〜4年前でしようか、先生御夫妻をお呼びして行形亭でお話する会をもちました。少年の頃のいたずら話に花が咲きましたが、そのうちに料亭の女主人さんが、「先生のお席は秋篠宮紀子様のお座りになられた所だ」と話された時、先生が破顔一笑されたことが今、目に浮かびます。まさに坊っちゃんそのものの喜びようでした。

現代生徒・保護者気質

新潟高校PTA会長 75回 富山 修一

先生からいただく年賀状は毎

年素晴らしいものでしたが、今年の賀状は特に端正で力のこもったものであり、急逝なされたことは残念でなりません。昨年は病気がちであられたとの事ですが、不撓不屈の精神で克服されました。これも先生から賜った教えの一つと考えます。

私は先生から勉学のみならず人間の生き方を教わりました。「人格の向上は人間一生の仕事である」と説いておられました。不肖の弟子であります私は、これからも先生のお言葉を心に刻み、努力していく所存であります。

先生、安らかに眠り下さい。平成九年八月七日

長男の入学に伴い今年度から、滝沢前校長と山下菊夫前PTA会長(69回卒)にだまされて(？)母校のPTA会長に就任いたしました。就任当初は何か面はゆくありましたが、やはり母校の事馴れ親しむに従い、懐かしさと同時に、県下No.1校としての誇りを汚すまいと一所懸命に頑張っております。

も自主的に行動し、自分の目標へ向かってエネルギーを傾注しているように見られます。それは茶髪、ピアスもいれば、マイクロナニスカートの生徒もおります。これは青春の自己主張でありまして、我々もパンカラを含め何らかの自己主張をしてきたのではないかと心の中で微笑んでおります。強いて挙げれば現代の生徒は少し大人しくなったな、という感じでしょうか。

他校の会長さんの話しでは生活指導面のご苦労話、つまり万引、非行等々が出てきます。これらの問題は母校ではほとんど無いと言って良いでしょう。あるとすれば、中学で成績が十番以内に入っていた者たちの集まりの中で、どれだけ自己の目標を達成出来るかという悩みではないでしょうか。

さて保護者気質というと、年度当初に行われるPTA総会に毎度出てくる質問があります。そしてその回答も判で押しただうに同じものです。新入生の保護者「女子の自由な服装は制服にしてみられないでしようか？」

59期同期会 新年会開催のお知らせ!!

明けておめでとうござい 今年も昨年同様、新年会を開催します。 期日 平成十年二月十一日(水) 会場 ホテルサンルート新潟 会費 九千円 尚、詳細に就きましては一月中旬頃迄に各位に案内状を郵送致します。前回以上に多数のご出席をお待ち致しております。 学年幹事 伊佐 修・市川鐵夫

渡辺秀英先生米寿記念

「琴舟道人文墨の世界」展

開催

60回 小林 智明

団長先生こと渡辺秀英先生は、昭和二十一年わが新潟中学校に赴任され、学制改革で県立新潟高等学校となつてからも、昭和四十四年まで二十三年間を青山健児に教えられ、その独特な漢文の授業は多くの生徒に貴重な思い出と感銘を残された。

その団長先生が昨年米寿を迎えられたことを機に、かねてより記念の個展、祝賀会を開催したいと、60回、61回の発起人が計画していたが、去る平成九年十月三十日より一週間、新潟伊勢丹会場で、「琴舟道人文墨の世界」展を開催した。

オープンの朝は長谷川義明新潟市長(61回)らのテープカットにより華やかに開会され、会場には先生が長年精進された書道の作品や、良寛研究などの成果が数多く展示され、文墨の香り豊かな会場に多数の市民や教え子達が遠近よりかけつけて盛況であった。

更に閉幕の十一月四日夕は、ホテル新潟で盛大な記念祝賀会が開かれ、上村同窓会長をはじめ



め、長谷川市長、斎藤信夫全国良寛会副会長、小柳マサ会津八一記念館長などの祝辞がのべられ、先生の感謝の言葉があり、小林力三大先輩(32回)の音頭で乾盃となった。出席は巻中學校関係、柏崎中学校の教え子の人々、青山同窓会関係、良寛会関係、書道関係などの人々で二百余名の盛会となり、先生の米寿と文墨の世界をお祝いした。

ここに上村会長をはじめ、同窓会の皆さんのご協力に、紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。有がとうございました。

記念誌「琴舟道人文墨の世界」A4判一八〇頁、三、〇〇〇円をご希望の向きは同窓会宛お申込み下さればお送りいたします。

平成九年度の、総会懇親会も予定通りに進行し、恒例の青山応援歌につき、万才三唱と閉会の辞をもって終了した時、私の委員長としての任期も終り正直なところ、ほっとした気持ち一杯でした。平成七年度に前任の敦井先輩から御指名され少々戸惑い気味ながらお引き受けしたものの、果してこの大役をこなせるのかなあと心配もし不安感を持った事を憶えております

が三年間、毎回七百数十名の参会を得て盛大に挙行でき、又予算につきましても赤字を出さずに済みました。年に一度とは云え、それなりの手順と準備がいる訳ですが、そのつど、役員をはじめ、受付等にたずさわっていただきました、各実行委員の方々の御協力はじめ、特に同窓会の組織母体である「各期幹事会」の絶大なる御支援と結束があつてこそと今更ながら感謝申し上げます。

総会実行委員長

辞任のご挨拶

70回 藤 誠

はなかるうかと思ひます。今後の青山同窓会の維持と発展を想えばやはり若手会員の掘り起しと参加が大切な訳です。私共スタッフは具体的には年令にして30才前後までの各期の幹事を選んでお集りを願ひ一度同窓会の現状を中心に説明をしました。

すぐに参加の増強にはつながらなかったと思ひますが一つの起爆剤として試み、若干名の参加がありました。毎年総会が終ると反省会がありますが、懇親会の中味についても大変、参考にされる意見や御批判もいただき、それなりに改善の方向に努力いたしました。時間的な制約や予算上の問題等もありまして十分に会員各位の意にそえない点多々あつた様に思ひます事を反省材料として、後任の小崎弘一君(73回)に引き継ぎたいと思ひます。最後になりますが、懇親会の段取り、交渉にお骨折りに下さつた同期の笠原大仙君、進行と司会をころよく引き受けて下さつた75回の小島富美子さん、それに若手の82回の栗原道平君、それに学校の先生方、事務局の御協力に深く感謝

致したいと思ひます。これまで以上に、御協力と御支援を皆様にお願ひ申しあげ辞任の挨拶と致します。誠にありがとうございました。

青山バドミントンクラブ
71回 滝沢 諒

平成九年十一月に行なわれた青山バドミントンクラブ総会で役員改選があり、宮川忠和会長(65回)から、新会長に北村誠作君(72回)に決まりました。青山バドミントンクラブは、昭和二十六年第一回出場し、その後三十七年、五十一年、五十三年と出場を果たし、その他県大会においても上位入賞を続けている新潟高校バドミントン部のOB、OGで構成されているクラブです。

会員相互の交流親睦と、現役高校生技術向上とサポートを目的に、現在百余名の会員が、忘新年会、夏の現役高校生との交流試合、バーベキューなどの行事を行なっています。

平成三年には、創部四十周年を記念して、黒竜江省の高校生とのバドミントン親善試合を盛会のうちに終えました。

これからも、現役部員の活躍を後援しつつ、益々会の親睦発展を計りたいと思ひます。(参加者の写真は12頁です)

前述の様にこの六、七年、常に七百名を優に越す会員の参加が定着しておりますのも、この各期幹事会が整備されしつかり根づいている事が最大の要因で

平成九年度青山祭(文化祭)

生徒会企画「旧校舎の思い出」

平成九年十月十八日・十九日

の両日、プレハブの仮校舎という悪条件の下、青山祭が行なわれた。その中で、副会長(当時)の森田真人君を中心とする生徒会の企画で、本校の沿革を展示する部屋が設けられた。興味深い部屋が出来上がったが、全部をこの紙上に再現することはできないので、その一環として行なわれた旧職員・現職員に対する旧校舎への思い出を聞くアンケートから、一部を再掲してみよう。

紙面の都合で、多数お寄せいただいた中から、ごく一部、旧職員三名の分だけを、それも無断で無謀な削除を加えながら、掲載することをお許しいただきたい。

なお、生徒会のアンケートにお答えいただいた旧職員の方々については、末尾にお名前のみを掲げることで、お礼に代えさせていただきます。

森田真人(生徒会副会長)
ラテン語で「カルペ・ディエム」という言葉があります。意味は「今日を楽しめ」です。これは

志賀哲夫(旧職員)

私は昭和二十七年三月に大学を出、四月に新潟高校に赴任致しました。その時には、校舎はまだ古い木造の校舎でした。そしてその校舎の中を、男子も女子も跣足で歩き廻って居りました。東京で三年を過ごした後では、それが少々奇異に、しかし又、同時に新鮮に眼に映ったことを憶えてゐます。

私は着任に当って、学力の不足のゆゑに、生徒諸君からボイコットを喰ふかもしれぬと覚悟してゐたのですが、案に相違して生徒諸君は、私を笑顔で迎入れて呉れました。私はすっかりこの学校が気に入りました。「髻生えそめし頃しうるはし。」私は古い校歌にいふ、「霞たなびく青山に」時を過してゐる想ひでした。

さて、その校舎は、二年後の二十九年四月に火事で焼け落ちました。汗ばむやうな春の日差しの中で焼跡の後片付けをしてゐる時、焼け残った体育館の羽目板を眺めて(注)「人住まぬ須磨の関屋の板庇 荒れにし後に秋の風吹く」といふ古歌を想ひ出し、感慨を催はしたことを覚えてゐます。

往時を想えば、まことにものみな散じて煙の如しの感があります。だが、世の中には変らぬものもあるでせう。その言葉に語弊があるならば、限ることの出来ぬものはあるでせう。新しい校舎では、さういうものを求めて学んで欲しいと願ひます。世は日に月に進歩してゐると思ふ人の中には学校を旧慣を保存する所と思ふ人もあるでせうが、たとへさういふ面もあるにしろ、学校には乱れ走る世間から身を守り、良い旧慣を保つといふは

たらしきがあります。例へば、学校は利害得失を離れて、一理想的にいへば限ることの出来ぬ真実の世界に立って、一先生と生徒、又、生徒同志が、互ひに言葉交はす機会を与へます。これはいはゆる世間では出来ぬか、出来にくい事です。又、情報はテレビにラヂオ、その他の器械で四六時中得られますが、限られない世界に立って為される真に自由な発言は面々相對して対話する時にのみ得られます。さういふ言葉を交はす喜びも学校で得られるのです。

かう書いてあるうちに、イリソス河の畔で問答するソクラテスとその弟子達の姿を想ひ浮かべました。もし、新しい校舎で学ぶ新潟高校の生徒達の中に彼等の影が宿るならば、「青山」には霞がたなびくこととせう。なぜならば、限られることの出

来ない世界に生きる人は「論語」にいふ「仁者ハ寿シ。」で仙人の部類にも入るからです。広長舌を致しました。終りに青山の松の緑のいよいよ深からんことを願つて筆を置きます。

(注)新古今和歌集卷十七 一六〇一 一五九九 人すまぬ ふは(不破)の関屋のいたびさし あれにし後は ただ秋の風

宮田久哉(旧職員)

現在、私はバスの窓越しに北校舎を眺めながら、通勤してゐます。建築以来四十年近くたっているはずだから、さすがに汚れが目につきます。特に体育館の屋根は赤サビ、補修のための継ぎ接ぎの斑模様、健気に未だ頑張つて建っているその様子に痛々しさを感じます。そして、やはり改築の時期になつて来たのか、と自分を納得させています。

一九七八年四月八日、私は新潟高校の教員として初めて生徒の前に立ちました。当然、始業式と入学式の日です。始業式に先立って離・新任式がありました。離任の教員の挨拶が始まりました。するとそれまで少々騒んでいた生徒が口をとじ、体育館が静まりかえりました。生徒の意志が一点に集中して、大変な緊迫感が、エネルギーが体育館に充満していくような気分

に襲われました。全くみごとな静けさでした。その中で、突然バタバタと羽音がしました。生徒たちは微動だにしませんでした。(注)私が眼を上方にやると、野鳩でした。その瞬間に、えらく天井が高く思えました。そして野鳩に気を散らさなかつた生徒の様子を見て、これは大変な学校に赴任してきたものだ、すごい生徒たちだ、と驚きました。

新潟高校の生徒たちは、私にとつて最後まで、あの体育館で感じた生徒たちでした。表面的には、あの頃と最近では様子が違います。しかし大事な場面では、以前と同じように気力を集中させて頑張る姿勢が続いていたと思ひます。この姿勢だけは校舎が新しくなつても、生徒諸君に受け継ぎ続けて欲しいと思ひます。

(注)この鳩に関しては、逃げ惑うところを現職員の石崎和美先生が気合いの一声で失墜させた。正に「飛ぶ鳥を落とす」一喝であった。という、同じく思い出の一文を旧職員

の小泉英雄先生が寄せておられます。

樋浦卓嘉(旧職員)

教頭の職務柄、毎日夕方、校舎を見回ると、多くの教室で生徒が学習していた。生徒交関が閉まるぎりぎりの時間まで勉強している。日曜日や休日も生徒が学習している姿に出会った。

生徒に聞いてみると、「自分の教室で勉強すると能率が上がる」とか、「先輩から無言の後押しがあるようで集中できる」というのである。さすが新潟高校生と感心した。

高校入試の前日とか、大きな学校行事の前、あるいは台風が襲来するかもしれないというときになると、全校のすべての窓、入口、非常口などを閉め、施錠を確認していくのだが、鍵がかからない窓があったり、ともするとはずれてしまうこともあったり苦労した。広い校舎の中には薄気味悪い所もある。北校舎から格技場に入る所である。使われていない更衣室があり、昔使っていたシャワー室があるのだが、電気をつけても薄暗く、水道の取り付け工事が悪いところがあって、水がチヨロチヨロと出ていたり、見回る人泣かせの場所であった。

行なわれ、校舎改築が具体的にたつた。そして、でてきたゴミはトラック数台分にもなろう、すさまじいゴミの山であった。体育館、準備室、特別教室などきれいになり、教務室も面目一新した。教務室の数学科の某先生の机やその脇なども見違えるようになって、その当時やればできるものなど話題になったものである。こんなことで、まがりなりにも検討委員会の先

生方に本校を視察してもらうことができた。同じようなことが、平成7年3月、突然の知事視察の時もあり、大急ぎで清掃し、視察に備えた。このときは高校入試と重なり、準備が大変であったことを記憶している。こんなことがあった旧校舎も今は取り壊され、体育館と北校舎が残るだけになった。思えばあの校舎で生徒は本当によく学習したし、部活動に、生徒会活動に一生懸命取り組んだ。歴史と伝統の重みがそれに拍車をかけたと思う。

アンケートにお答えいただいた旧職員の方々
宮田久哉 S 53・4 H 8・3
藤田久喜 S 20・11 H 38・9
校長 S 52・4 H 55・3
土屋信之 S 52・4 H 9・3
小泉英雄 S 41 H 54年度

〈寄稿〉

安吾への熱きおもい

76回 斎藤 正行

- 樋浦卓喜 H 4・4 H 7・3
森 幸雄 S 39・4 H 3・3
志賀哲夫 S 27・4 H 52・3
宮地正樹 S 33・4 H 41・3
校長 S 62・4 H 3・3

- 飯塚良彦 S 28・10 H 34・3
S 38・4 H 54・3
樺沢奥雄 S 60・4 H 9・3
中村新平 S 55・4 H 8・3

昭和五十七年一月三十一日、大雪の中、私は妻と娘二人を連れて新潟へ東京から舞い戻りました。何をやる(仕事)と言うことを決めていた訳ではなく、漠然と「安吾をヤル」事だけは決めていました。「安吾」が生き方を規定して呉れる。良く言えば導いて呉れると考えていました。そして、ご無沙汰ばかりなのに、チャッカリ、恩師の渡辺秀英(团长)先生を訪ね、相談のついでにいただきました。短冊に『清風自來』と書いて頂き

「慌てることはない。慌てて仕事をすることはない。風は必ず吹く」と励まして頂きました。それから安吾の件になりました。猛烈に大反対。「良寛か会津八一にしないさい」何故かと聞けば、「安吾をヤれば、お前も狂って

る様に思われる」「それでは、良寛も八一も狂ってはいないのか」「三人とも同根ではないか」粘る私に、頷いて頂き、安吾の

会の会報誌「安吾雑報」の表題を快く揮毫して頂きました。そして、昭和六十年、運良く「新潟・市民映画館シネ・ウインド」を創り、「安吾の会」も発足することが出来、昨年坂口安吾生誕九十周年記念誌安吾探索ノートを発刊しました。A5判本文二九ページ、安吾探索紹介された人名、地名をマップに記して、旅行ガイド的にまとめられた地図は好評です。また

評論・エッセイとして、小林力三、村山政光、岡田民雄各先輩達や、坂口綱男、手塚真、また直木賞作家の三好京三各氏の安吾体験・思いも各々多彩に文章に表われています。是非ご講読頂きたいと思えます。

今年に入って、愈々、映画「白痴」がランキングに向けて動きだし始めます。個人に対しては、一口一万円、映画「白痴」を支援するための「アート

サポーターズ」を開設します。

また二月十三日より原宿の新潟県情報発進基地「ネオパス」では、「坂口安吾の現在展」ふるさとを語る「ことあり」が開催されます。新潟市においては、二月二十一日より(財)新潟市国際交流協会、芸術文化振興財団主催の「にいがた国際映画祭」の中で、坂口安吾原作の映画「桜の森の満開の下」「不連続殺人事件」等の上映も計画されている様です。坂口安吾を育んだ青山、そして、新潟に、坂口安吾をキープワードに集う若人達に是非エールを贈って下さい。

問い合わせ先
「安吾の会」
新潟市八千代二一ー一
シネ・ウインド内
〇二五―二四三―五五三〇
FAX 二四三―五六〇三
「白痴」
〇二五―二四三―五六〇二
(矢部)



新潟高校通信制 創立五十周年記念事業

日時 平成十年七月五日(日)
会場 新潟東映ホテル(新潟市
弁天二一―一六)

内容 記念式典、記念講演会、
通信制同窓会総会、祝賀
会を予定しております。

なお、記念式典、祝賀会等の
日程、記念講演会の講師につい
ては、平成十年三月には正式決
定致します。

一、事業部経過報告
●募金状況
平成九年十一月二十七日現在
百九十万八千五百円
なお、青山同窓会本部より金
五十万円が、平成九年十二月十
九日納入されました。

●記念誌のあらまし
青山百年史通史Ⅱの手直し、
追加
回顧録(卒業生、旧職員)
資料(写真、統計、年表等)
記念誌予約状況
平成九年十一月二十七日現
在 同窓会会員三百六十五冊
旧職員四十三冊 計四百
八冊(協賛金は一冊二千円)
なお、六百冊印刷予定のため、
まだ残部があります。予約の
追加希望の方は、事務局(新
潟高校通信制 電話〇二五―

二六六―二〇二四 係・狩野
又は、鈴木まで(一報下さい。)

●祝賀会出席予定者
平成九年十一月二十七日現在
同窓会会員 百六十六名
旧職員 三十四名 計二百
名

●記念品等
同窓会としましては、母校

青山体友会の集い

去る11月1日第11回青山体友
会が錦城閣に盛大に開かれた。

青山体友会とは新潟中学新潟高
校体操部OB現役の集いである。
発足は昭和15年夏とあるから、
今より57年前である。体操王国
新潟はこの新潟中学の体操部よ
り生れたのである。今こそ鉄棒、
平行棒、吊環、床運動、鞍馬、
跳馬だが、初期は鉄棒、跳箱位
のものであった。先輩は後輩の
育成に夏休み冬休みには、よく
学校にきて指導してもらったも
のである。残念ながら現在は新
潟高校には体操部はないらしい？
さびしい限りである。何とかし
て伝統ある体操部が復活しても
らいたいものである。体操をやっ
たものは肥満はあまりいない等



へ何らかの記念品を寄贈し
たいと考えております。
他に、テレホンカード(実
費七百円位)。実費で販売。
資料保管棚(五十周年の資
料保存の為、既に、設置済)
一、行事部経過報告
行事部の今後の任務と役割分
担が決定致しました。
最後に、一人でも多くの卒業
生の方々のご出席をお待ちして
おります。(文責 鈴木捷雄)

と、のむほどに昔の話に華が咲
く。当日の出席者は中山仁(45
回) 水野信二郎(48回) 外山芳
夫(49回) 板谷啓司(51回) 土
田卯八郎(51回) 斎藤兌(52回)
渡木登(55回) 中川弘(58回)
白根忠(59回) 川上忠男(59回)
江口昌男(59回) 本間義康(79
回) 横山明裕(82回) 出口卓哉
(94回) 敬称略、14名であった。
来年の再会を期して、初秋の古
町より家路につく。(中川 記)

42期(昭和10年卒) 近況報告 42回 高山雄次郎

青山42期生の動向に就いて(昭
和10年卒)
我々の同期会は既に会を重ね
る事20と数回に及ぶと思はれま
す。全員が80才を過ぎ超高齢者
の仲間になりました。此處迄来
る間素晴しかった数多い仲間達
が故人となり正に感無量であり
ます。

今年度の会合は11月4、5と、
1泊2日、六日町温泉の木の芽
坂ホテルと定め上越新幹線浦佐
駅に集結してマイクロバスにて
送迎を受けて県外勢9人県内勢
10人計19人が夫々元気な姿を見
せて呉れました。
談論風発時を忘れて語り合い
大いに旧交を温め来年の再会を
楽しみに浦佐の駅で解散しまし

た。
出席者
後列左より、今井包和、高橋二
郎、小笠原一男、石井嵩
中列左より、片山彦三、岡田竜
雄、大野総一郎、羽田軍次、今
泉景喜、広沢斉、森山敏雄
前列、高山雄次郎、薄田開元、
西山秀夫、東城眞佐男、鳥羽正
隆、田中正吾、小泉俊平、小武
内祐
以上19名



ゴルフ同好会 第四回青山OB会 開催さる

九月二十日(土) 前日までの
台風十九号の余波による雨がう
その様に上がった快晴のもと、
フォレストゴルフクラブにて
「第四回青山OB会」が開催さ
れました。

当日は、初めての土曜日のせ
いか、上村光司会長以下、初参
加の渡辺毅さん(85回)まで三
十三人の参加を頂きました。ち
なみにスコアは川合邦松さん
(76回)の79から?さんの12
8まで多彩にわたり、同期の方々
とバカを言いながら和気あいあ
いのうちにラウンドを終了。ま
た支配人の川崎三郎さん(58回)
から多額の割引をして頂き、参
加者一同、感謝。

結果は、優勝大橋誠五さん
(76回)(グロス90ネット70・
8) 準優勝堀 一さん(75回)
(グロス81ネット72・6)。
夜の表彰式は田中忠夫さん
(73回)のご配慮のもと、古町
七の安兵衛でたらふく飲みかつ
食べて、会本来の趣旨を全うし
て終了致しました。

当会は年会費一千元でどなた
でも入会できます。ご希望の方
は青山同窓会事務局までご一報
下さい。皆様の参加を心よりお
待ち申し上げております。
青山OB会幹事 富山修一

ヨーロッパ寸描

59回 西脇 諭



海外旅行が盛んなご時勢だが、定年退職で漸く妻と一緒に地図と磁石を頼りのヨーロッパ旅行を楽しんだ。他に仲間が三人いたが、離合集散自由気ままな旅だった。海外旅行開発株の60回高城英雄社長にもお世話になった。この小文は拙い旅行日記からの抜粋である。

●四月二十一日(月) 晴れ
ブリュッセルで他の三人と別れ、ケルンから乗った国際列車は一室六人が座れるようになっていた。『まるでお伽話のようね』と道子が形容する見渡す限りのグリーン畑、林立するトンガリ帽子の赤い屋根……こんな車窓の風景にすっかり魅せられていた。『ねえ洗濯物が外に干してないわ』と道子が大発見したような顔をして言う。『外はみっともないから』隣の若い金髪の女性がニコニコしながら説明する。向かい側で難しい顔をして立派な紳士も口を開く。『僕は東南アジアは行ったけど日本はないんです』かなり年配かなと思っていたその紳士は話してみると四十代位のように



ミュンヘンの少年達に日本の中学生にはない煌々ような明るさを発見した

●四月二十四日(木) 晴れ
ローテンブルクの朝、ヤコブのどかであった。コイシヨと降りる。洋画のシーンの中にあるようないい気分です。フランクフルトの土を踏んだ。ホームを犬がテクテク歩く光景がのどかであった。

だ。頭の禿げ具合だけでは歳はわからない。こうして話は弾んだ。フランクフルトの駅は大きかった。ホームが低く列車からドツ

教会の鐘が鳴った。カーン、カーン……『教会の鐘の音で目を醒ますなんてとてもロマンチックね』と道子は言う。彼女が朝の準備に追われているすきに、ホテルを抜け出しレーダー門に足を向けた。朝の空気が美味しい。まだ人通りの少ない石畳の街路を歩いてレーダー門から城壁をしばらく歩いた。優しい太陽の光が家々の赤い屋根を美しく彩っていた。

●四月二十五日(金) 晴れ
ミュンヘンの道路で遊んでいた中学生に日本語で話しかけられる。『コンニチハ』彼が知っていた日本語はこの一語だけ。私が英語で喋りかけると少年も面白がって英語で話し始めた。『何時ミュンヘンに来たの?』『おじさんドイツ好き?』矢継ぎ早である。友達も数人集まった。道子は茶目ついで元気な少年達とカメラに入り上機嫌である。今の日本の中学生にはない煌々ような明るさを発見した。

●四月二十七日(日) 晴れ
待望のウィーン。ミュンヘンで合流した大塚さんも一緒に正装して楽友協会ホールに向かった。ここはウィーンフィルの本拠地。指揮は小沢征爾。満席の聴衆は固唾を呑んだ。ベートーベンのエグモント序曲・シェーンベルクの浄夜・ベートーベンの

交響曲第3番「英雄」。音楽に疎い私も会場を揺るがす演奏に圧倒された。アンコールは繰り返された。二人の女性の感動は私以上であったらう。帰路、日曜の夜十時ともなれば多くのレストランは閉まっていたが、ようやく一軒見つけて入り喉を潤した。スタンドの前の女性が可愛らしく見えた。

●四月二十九日(火) 晴れ
ウィーン大学に入ってみようと門衛に恐る恐る尋ねたら『どうぞ入って見てくれ』と丁寧だ。中庭には著名な教授の胸像が並ぶ。夏は舞踏会が催されるといふ。学内のアカデミックな雰囲気になり「こんなところで勉強が出来たら」と少年時代に描いた夢が彷彿として蘇った。創立は十四世紀。学生達に聞き聞き探して講堂がまた素晴らし

い。大学の職員であろうか中年の女性がホールの扉を開けてくれたり照明をつけてくれたり親切だった。道子は演壇に立ち講演の真似をした。壮厳な天井のクリムトの画が印象的だった。大学の前にベートーベン記念館があるらしいが、なかなか見付からない。学生らしい若者達にも聞かざらばりだ。新潟で八一や安吾のことを若い人に尋ねてもチンプンカンプンなのと同じなのかもしれない。この辺

かなと石段を駆け上ったら、お年寄りの女性が『ベートーベン?』とニコリ笑い、オーストリア国旗が棚引く建物を指差してくれた。

●四月三十日(水) 晴れ
ウィーンの森では京都の銀閣寺近くの疎水を思い出した。静かな散歩道でお年寄りに道を尋ねながらのハイキングは実に楽しい。ベートーベンが難聴に苦しみながらも「田園」「英雄」といった名曲を作曲したという小路をゆつくりと歩いた。住居だったという記念館には遺髪がそうと展示されていた。

●五月一日(木) 晴れ
十五日間の旅行最後の晚餐は緑の蔭が絡まるレストラン「グリーヒェンバイスル」とした。継田さんと大塚さんも参加した。紳士達がビールを飲みながら会話を楽しんでいた。ここは十五世紀創業のウィーンで最も歴史の古いレストラン。ベートーベンの古いレストラン。ベートーベン・シュールベルト・ワーグナーといった著名な音楽家たちが、この店でビールと食事を楽しんだという。ノスタルジックな雰囲気漂う中で仔牛のメダイヨングリルやピンゼンビールを注文した。二人で五四〇〇円。値段も安く味は満足だった。

その結果、今年中に第一回目のコンペを開催しようということになり、飯塚、畠中、吉川の三名が代表幹事となり松本君が事務局となってスタートすることに決定した。然るにその数日後松本君が突然病に倒れてしまった。その後の経過は良好とのことであるが、一日も早い全快を祈るのみである。

尚、その後重野君と中野君が事務局を引継いでくれることになり去る十一月十七日紫雲ゴルフクラブで第1回コンペの開催にこぎつけることができた。

当日は大雨洪水注意報という最悪の予報であり、何と精進の悪い連中が揃ったものかと情なくなつたが、いざスタートしてみるとそれ程の雨も降らず気温

今年七月の青山同窓会総会の席上で第五九期のゴルフ同好会を作ろうじゃないかという話がおもち上り、早速八月二六日残暑猶蔽しい紫雲ゴルフクラブに飯塚実、佐藤進、重野行甫、中野誠、畠中勝、松本俊彦、吉川篤、菊地文雄の八名が集り和気あいあいのプレーを楽しんだ後第五九期ゴルフ同好会の発足について協議した。

**青山第五九期
ゴルフ同好会発足**

(次頁へつづく)

が生まれている。
同期コンペに、このように、常に多くの仲間が集い、年々活発化しているのには、いくつかの要因がある。

まずは自他ともに許す永久幹事長、今野公和君の存在。

激務の合間を縫って、参加者への連絡、組合せの決定、賞品の準備、表彰式の運営等々の努力が本会の支えになっている。

加えて、近年はゴルフ界のプロである（プロゴルファーではない）近藤君の力添えで一段と運営の内容は充実しつつある。また、全日空の久保田幸郎君が、ANAグッズ（スチュワーデスのエプロンなど）を適宜提供。

新潟開催時の納会は、いつも原田衛君の駅前「金剛」で格安に、と裏で幹事長を補佐する同期68回生のメンバーの協力も大きい。

今年も、春の群馬県に続いて、秋の阿賀高原での二十四回コンペが行なわれた。あいにくの雨のなか県外の日帰り組も無事到着し、前回優勝者の渡辺千鑑君、新参加の寺尾義隆君の挨拶のあと二十二名がスタート。後半のスタート時には、霧で五〇メートル先がよく見えないというコンディションになったが、その後霧も雨もあがり、遭難するパーティーもなく、全員ホールアウト。成績は、優勝・横山清夫君

（新潟）、準優勝・森恭也君（東京）、三位とベスグロは渡辺千鑑君（東京）。

「全日本シニアゴルフ選手権懇親会会場」と墨痕鮮やかな案内が張り出されたお馴染みの「金剛」での表彰式にはコンペには都合で参加できなかった、赤塚五十二君、北村泰作君、近藤義雄君も加えて、二十三名が参集。

いつものごとく大いに盛り上がり、ぎりぎりまで引き止めた県外組が帰ったあと、しばらく懇談の輪は崩れなかった。

池主憲夫 記

**第二十四回
青山野球倶楽部ゴルフ大会
担当幹事 85回 吉井浩**

平成九年十月八日、恒例となつた青山野球倶楽部ゴルフ大会が、サンライズGCにて行なわれました。清野前会長より優勝カップの寄贈を受けて、昭和五十九年春より「清野杯ゴルフ大会」として始まった大会も今秋で満十四年が経過します。

今回は、最年長の小野寺稔先輩（44回）を初めとし、いつもより若干少ないものの十四名の自称精鋭の参加にて行なわれました。大会に先立ち宮川会長より挨拶を頂戴し、一同張り切っていたのですが、当日の天気は前日の秋晴れとは打って変わっ

て大雨・強風・雷注意報が出され、前途多難を思わせるスタートとなりました。それでも午前中は、風は少々強いものの、時々陽もさし予報よりはましな状況でのプレーとなりました。優勝の大本命、小野寺先輩や小松正一先輩（62回）がいつもの調子でなかったため、優勝争いは混沌としたまま賑やかな昼食休憩となりました。しかし、充分過ぎるアルコールで各自体内に燃料を補給している間に、西の空に真黒な雲が現れているのを誰も気づかなかつた事が不幸の始まりでした。

午後から最終組がスタートすると同時に、予報通りに雨足が強まり、稲妻が走り、緊急避難サイレンが響き渡るという最悪の事態になってしまいました。

風雨はさらに強まり、情け容赦ない豪雨の中、クラブも優勝の栄誉も放り投げ、避難小屋に待機となりました。大粒の雨が強風と共に吹き込む避難小屋の隅の方で、先輩も後輩もなく体を寄せ合い一時間程天候の回復を待ちましたが、優勝の意欲も体も冷えきって、プレーを続行しても楽しくなからうという結論に達し、前半戦のみで競技終了。大会史上初のコールドゲームとなりました。

かつたことを一同喜び合い、風呂で暖まった後、直ちに表彰式へと移りました。勝敗は午前中の成績のみで争うことになり、最近絶好調という湯浅一平先輩（63回）の優勝。猛打賞は、浅井寛先輩（84回）という結果になりました。

命もかえりみず、稲妻の閃光の下悠然とバーを取ったり、強風ゆえにニアピンになったりと、好プレー、珍プレーが続出。経験豊富な先輩諸兄の雨対策用即席ニッカーボッカー風スタイル等、若いOB達が妙に感心する場面もあり、まずは無事に大会を終了する事ができました。

皮肉にも、ゴルフ場を後にする頃薄日のもれる穏やかな天候となり、「誰の精進が悪かったのかな？」と推測しつつ帰路に着きました。

来春は十五年目、第二十五回という節目の大会となります。今までに参加いただいた延べ五十二名の方々以外にも、新たに大勢の会員の皆様に参加できる様、また参加された方々に喜んでいただける様に幹事の一人として考えております。

同窓生のお店紹介

『こんな店、行きたい!』シリーズ

日本料理

「銀の吹雪」

72期(1964年卒) 関野興平さんの店

新潟市東掘通八番町
Tel 222-8448



青山
バドミントンクラブ

平成九年度総会参加者
(本文は5頁)



竹垣の合間の石畳を踏みしめながら、ガラリと引き戸を開けるこの店の造りは、京都で大学時代を過ごした主人の趣向である。

スノコを敷いた小座敷に座ると、目の前のカウンターに、綺麗な器に盛られた白身のお造りや、ゴマ豆腐、天ぷらなど、懐石風の料理や、米沢牛の網焼き等々、お客の好みに応じて色々料理が出される。

板前さんが毎日、市場で仕入れた逸品ばかりである。

一階の他、二階の小部屋、大部屋等合わせて、優に三十人の会食ができる。

予算、料理等、希望に応じるこの事なので、同期会や、会社の会合等に是非利用して貰いたい「同窓生」のお店である。

(PM6:00~10:00・日祭休み)

後輩の活躍

それではここで問題です。これから紹介する部は何部でしょう。

〔平成四年度〕

県大会

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成五年度〕

県大会

- 男子団体戦 二回戦で敗退
- 男子個人戦 七位
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成六年度〕

県大会

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成七年度〕

県大会

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成八年度〕

県大会

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成九年度〕

県大会

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

- 男子個人戦 笠原二回戦敗退
- 全国大会(愛媛県) 大山二回戦敗退
- 団体戦 新潟県 十五位
- 女子部までが県で優勝? レスリングからラグビーかと思った方もおいででしょうが、違うのです。では、ボートかフェンシング、といきたいところですが。

〔平成七年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成八年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成九年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成十年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成十一年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成十二年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成十三年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

〔平成十四年度〕

- 男子団体戦 優勝
- 男子個人戦 優勝
- 全国大会(東京都) 中野祥孝

- 女子団体戦 二回戦敗退
- 男子個人戦 庭山二回戦敗退
- 全国大会(北海道) 塚崎二回戦敗退

〔平成十一年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

〔平成十二年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

〔平成十三年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

〔平成十四年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

〔平成十五年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

〔平成十六年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

〔平成十七年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

〔平成十八年度〕

- 男子個人戦 二十五位
- 女子個人戦 十四位
- 団体戦 新潟県 二十四位

ベスト16に入りました(東京都で行われる、日本棋院主催の全国高校囲碁選手権大会で)。

また、奈良県で行われた、全国高等学校総合文化祭奈良大会

囲碁部門では、男子個人戦で一年生の廣田充君が七位に、団体戦では十二位に入賞しました。

目立たない囲碁部員ではありませんが、その精進ぶりだけは褒めてあげてください。

平成四〜五年に活躍した中野君と、今年全国七位になった廣田君を除いては、全国大会のメンバー全員が入部時点では初心者なのです。囲碁のルールさえ分からなかった初心者が、三年の間に、全国に通用する有段者

にまで育ったのです。囲碁を嗜まれる方ならば、これがどれくらい大変なことか、ご理解いただけると思います。

彼ら彼女らは、私に言わせれば立派な「丈夫(ますらお)」です。

中には、早朝打って、昼休みに打って、放課後打って、夜には碁会所で打って、それでも足りなくて、休みにも碁会所に通い、授業中には定石の本を盗み読むという豪の者までいるのです。

長くなりました。諸先輩方の温かいご声援を、恵まれない文化部の後輩たちにかけてあげてください。(77回 S記)



都道府県選挙管理委員会連合会等主催の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で新潟高校3年の美濃由実子さんが最高賞の「文部大臣・自治大臣賞」を受賞。その伝達表彰式が12月16日母校校長室で行われました。表彰状は新潟市の選挙管理委員長・石田瑞穂氏(青山同窓会幹事長)より美濃さんに手渡されました。石田氏は「母校の校長室で、このような榮譽ある賞状を後輩に伝達できて大変うれい。最近の若者の選挙離れ解消の啓発活動に使わせていただきます。」と、美濃さんは「明るさを意識して描きました。世の中の事をよく分かる大人になりたい。」と話していました。

ハイティーン水泳 新中・新高 26

60回 平田 大六

46 対決

一九五〇年八月三日(水)は、第五回国体水上、新潟県予選会決勝の日であった。第二回北日本高校水上選手権とも兼ねていたので、私たちは「北日本」と

前日二日の予選ではライバルの佐渡高校武田大司選手とは別組であったが、記録では互角である。出だしにおくれた私が、後半をすぎて追いつき、ラスト

でリードする、というパターンがお互の予選ラップタイムから想定できた。私は、決勝前夜にそれにそった作戦を完成させていた。お互に高校二年生だ。

私と武田の対決は、午前の四百メートル自由型決勝からはじまった。私の日記によれば決勝出場者は私と武田を含む六人で、滝本秀雄(高田高)野崎愈(新潟商)黒崎哲夫(柏崎商)江口

(次頁4段目へつづく)

関西青山同窓会 懇親会出席者・スナップ

- 52回 葉 美江
- 星野 孝 75回
- 53回 坂元 正広
- 野口 俊作 清水 純
- 58回 谷沢 隆邦
- 内山準之助 玉井 正光
- 小栗 一 宮 純一
- 59回 77回
- 青木 久馬 熊倉 直美
- 60回 79回
- 外山 照夫 田坂 憲昭
- 61回 村井 圭子
- 山本卿之介 80回
- 62回 中村 陽子
- 藤山 陽三 和田 守世
- 63回 81回
- 西脇 重孝 佐藤 健司
- 油本 暢勇 82回
- 64回 今山 隆
- 田中 恒夫 大滝 勝之
- 松原 迪夫 83回
- 65回 渡辺 友昭
- 白川 欣一 大塚 芳信
- 高橋 貞夫 佐藤 悌二郎
- 波多野庄英 84回
- 66回 荒木 泰次
- 近藤 宏一 星野 範世
- 67回 85回
- 池 隆夫 内山 衛次
- 川崎ヒロ子 吉田 圭一
- 北場 勝也 88回
- 68回 大野 明彦
- 中山紀代子 藤本 健介
- 69回 90回
- 本間 禎介 土屋 亨
- 70回 92回
- 加藤 清策 上甲 悌二
- 能田 直子 93回
- 小泉 和代 武田 康之
- 西山 実 94回
- 花輪 治 出口 美穂
- 花輪 優子 99回
- 星 雅啓 村井 良太
- 渡辺 麗子 103回
- 72回 丸山 圭一
- 本間 政春 104回
- 73回 小林 純平
- 藤田慶一郎 関 哲郎
- 74回 野崎 尚広
- 中村公美子



上村会長あいさつ



高橋貞夫発起人あいさつ



高地元校長あいさつ



◎新年会の朝、会報が刷り上がりホットしています。会員各位のご協力に感謝致します。

◎東京青山同窓会の佐藤事務局長から、東京の会運営について詳しい報告がありました。裏方のボランティアで同窓会が保たれているとしみじみ感じます。意気を感じて後に続く若き同窓を期待します。ご苦労様です。

◎関西で初めて懇親会が開かれました。今後も開催されることを願って、参加者の喜びのスナック特集しました。

編集後記

◎新しい校舎の建設も進んでいます。完成するころは、同窓会も百十周年を迎えます。そのころには新しい会員名簿も必要。その準備もそろそろ始める必要があります。会員の住所異動などはぜひ事務局へFAX又は、はがきでお知らせください。

◎ことも難しい、変革の年と言われます。会員各位が、健康で、前向きに各方面で活躍されることを願っています。(石)

同窓生の書店

「モリヤ」

関西、大阪へお出掛けの節はお立ち寄り下さい。旧阪大病院と、NIT情報センターとの交差点角の喫茶「モリヤ」です。ママは78回の森島和枝さん。デジワは〇六―四五一―一五四―大阪市北区堂島三ノ二十二

関西青山同窓会の今後について、ご意見など事務局へお寄せ下さい。

◎PTA会長の見た母校の生徒氣質。会員各位も青陵祭や、文化祭に母校においていただき、よき後輩を実感し、激励してください。

◎今年はクラス会だよりの報告が少なく、代わりというか、同期の、クラブのゴルフ会報告がたくさんです。健康万歳。

◎クラブOB会の活躍も目覚ましく、部活を通じての先輩、後輩の絆もいつまでも堅いようです。同窓会からの補助金(ごく少額、一律)もお役に立っているようにですね。

◎後輩の活躍、いつもは運動部全盛ですが、文化部も頑張っています。文化部のOB会報告などもお待ちしております。

◎編集のミスで、バドミントン部の記事と写真が離れ離れになりました。ごめんなさい。おわびします。

